Carely（ケアリィ）

株式会社iCARE

企業の健康課題を解決する、仕組み（システム・サービス・コンサル）を提供します。

https://www.carely.jp/

サービス分類・提供内容（選択式）			サービス概要・特徴（500文字以内）
体制・業務構築支援	産業保健体制構築支援	○	Carely（ケアリィ）は、企業の健康管理に必要な「仕組み」と「専門家の知見」を提供しています。健康管理クラウドにより、ストレスチェックや健康診断などのデータを一元化し、従業員の健康リスクを可視化。必要な対応を漏れなく実行できるよう支援します。さらに、産業医や保健師、心理職が体制構築から運用まで伴走。法令対応だけにとどまらず、企業の状況に合わせた最適な健康管理体制の設計・改善をサポートします。
	健康経営推進支援	○	
	ストレスチェック制度対応支援	○	
	ハラスメント対策支援	○	
	過重労働対策支援	○	
	復職支援に係る体制・業務構築支援	○	
	人事・労務向けアドバイザリー	○	
調査・分析支援（人的支援）		○	
現状把握・分析システム	ストレスチェックシステム	○	
	パルスサーベイ・従業員意識調査		
	健康・労務データ統合分析システム	○	
組織づくり・職場環境改善	組織開発コンサルティング	○	
	管理職向け研修	○	
	従業員向け研修	○	
管理職向け個別支援			
従業員支援	相談窓口・カウンセリング		
	セルフケア研修		
	セルフケア支援アプリ		
	復職支援	○	

期待される効果		根拠の詳細		
【凡例*】◎:実証評価>○:導入企業の評価>●:理論的裏付け		導入企業の評価	理論的裏付け	実証評価
基盤整備	1. 法制度対応	○	●	–
	2. 制度・施策体系の整理	○	●	–
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○	●	–
	4. 組織状況の把握	○		–
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	○	●	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上			
	7. プログラムへの参加率・利用率向上			
	8. 不調の早期発見・対応	○	●	
	9. ヘルスリテラシー・意識向上			
	10. 仕事のストレス要因低減			
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上			
	12. 周囲のサポート力向上			
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善		●	
	14. 健康状態・心理指標改善		●	
	15. アブセンティーイズム改善			
	16. プレゼンティーイズム改善			
	17. ワーク・エンゲイジメント向上			
	18. 従業員エンゲージメント向上			
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）			

*ウェルココ上で掲載される際に複数の根拠がある場合は、凡例の優先順で表示されます。

導入企業の評価（500字以内）

Carely導入企業に向けてインタビュー形式の導入後評価を実施。導入後6ヶ月以上を経た30社超のインタビューはWEBサイトに公開しています。
https://www.carely.jp/case

理論的裏付け（500字以内）

▼健康管理システム・産業保健体制コンサルティングにおける理論・健康診断、ストレスチェック等の法定検査に準拠・産業医学、労働安全衛生マネジメントにおける標準理論に準拠。
▼健康経営コンサルティングにおける理論・経済産業省等が発行するガイドブックに準拠。

実証評価

学術介入の有無	エビデンスの水準

（学術介入有りの場合）氏名・所属・専門、掲載文献・発表した学会・演目名（500字以内）

実証評価の結果概要（500字以内）

Carely（ケアリィ）　株式会社iCARE

様式3 導入企業の評価

該当する効果		
基盤整備	1. 法制度対応	○
	2. 制度・施策体系の整理	○
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○
	4. 組織状況の把握	○
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	○
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	
	8. 不調の早期発見・対応	○
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	
	10. 仕事のストレス要因低減	
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	
	14. 健康状態・心理指標改善	
	15. アブセンティーイズム改善	
	16. プレゼンティーイズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

実施概要・結果

健康管理クラウドによる労働安全衛生法関連業務の効率化及び健康情報分析。
専門職による制度設計支援、従業員面談対応・保健指導の実施。
導入・支援実績は700社以上。

成果・評価コメント　※「該当する効果」との対応がわかるよう（　）内に効果のNoを付記する

Carely導入企業に向けてインタビュー形式の導入後評価を実施。
導入後6ヶ月以上を経た30社超のインタビューはWEBサイトに公開しています。
https://www.carely.jp/case

■株式会社マルハニチロオーシャン様
メンタルヘルス不調に早く気づくことができ、スピーディーに面談の対応をいただき本当に助かっています。先日もある社員が不調を抱えているのがわかり、Carely保健師の方と産業医に面談をお願いし、アドバイスに基づき対応ができました。今は元気に働いています。

■株式会社カクイチ様
Carelyで健診結果をデータ化できたことによって、有所見者をフィルターかければ検索できるようになりました。前任者の情報も参考にすると、健診結果を手作業で管理していた時は1年を通して100時間くらいかかっていたものが、１／３程度に削減されました。Carelyに全て集約されるので、産業医面談前の情報連携や、上長への情報共有などもしやすくなり、少しずつ環境が整ってきています。

評価者情報

個社ごとの評価結果を根拠とする場合	企業名① 部署名・役職		業種 従業員規模	
	企業名② 部署名・役職		業種 従業員規模	
	企業名③ 部署名・役職		業種 従業員規模	
	企業名④ 部署名・役職		業種 従業員規模	
	企業名⑤ 部署名・役職		業種 従業員規模	
複数社からのアンケート結果を根拠とする場合	アンケート対象及び回答社数			
	実施時期・方法			
	主な設問内容			

Carely（ケアリィ）　株式会社iCARE

様式4 理論的裏付け

該当する効果		
基盤整備	1. 法制度対応	○
	2. 制度・施策体系の整理	○
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	○
	4. 組織状況の把握	
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	○
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	
	8. 不調の早期発見・対応	○
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	
	10. 仕事のストレス要因低減	
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
	12. 周囲のサポート力向上	
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善	○
	14. 健康状態・心理指標改善	○
	15. アブセンティーイズム改善	
	16. プレゼンティーイズム改善	
	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲージメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

採用する理論的枠組みの概要　※「該当する効果」との対応がわかるよう（　）内に効果のNoを付記する

・健康診断、ストレスチェック等の法定検査
・産業医学、労働安全衛生マネジメントにおける標準理論
・経済産業省等が発行するガイドブック
・人的資源管理（HRM）における標準理

理論的枠組みの活用方法

▼健康管理システム・産業保健体制コンサルティングにおける活用
・健康データの利活用について、健康診断、ストレスチェック等の法定検査に準拠
　└法令遵守、制度・施策の運用、業務効率化
・組織介入・個人介入について、産業医学、労働安全衛生マネジメントにおける標準理論に準拠
　└サーベイ等による組織把握、面談等による個人把握、人事・管理職への健康教育
・人事情報と健康データの紐づけについて、人的資源管理（HRM）における標準理論に準拠
　└人事（勤怠・労務）システムとの連携、メール・動画等による周知や教育

▼健康経営コンサルティングにおける理論
・経済産業省等が発行するガイドブックに準拠
　└健康管理システム内のデータを用いた、健康指標と生産性・労務指標を組み合わせた分析
　└健康指標改善に向けた、専門職・人事総務・経営層・健康保険組合等の関係者間の情報連携